

令和元年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	緑被率 (※緑と生物の現況調査10.5% (平成21年度) に、開発指導要綱等の緑化指導による増加分を含めた推計値。)									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					12.2%					13.0%
実績	11.4%※	—	10.7%							

指 標 名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					50.0%					60.0%
実績	43.8%	—								

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移 (千円)	
一定規模以上の建設事業に対する開発指導要綱等に基づく指導により、緑被率は徐々に増加している。しかし、本区は住宅等が密集しているため、緑化に適した場所が限られており、緑地の整備は進みにくいことから、大幅な緑被率の向上は難しい状況である。 今後は、緑被率の向上を進めながら、まちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)や立体緑化(屋上緑化・壁面緑化)を推進して、生活の中で緑を身近に感じる「緑感」を、区民・事業者・区の協働により高めていく。区は区有地や公共施設・学校における緑化を率先して行うとともに、区施設の既存屋上緑化等について、良好な緑地を維持する必要がある。	H28	17,435
	H29	24,342
	H30	50,858

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	緑被率は、民間建築物に対する指導等により少しずつ増加している。 また、墨田区緑と生物の現況調査(平成31年3月)で実施したアンケート結果では、10年前より緑が増えていると感じる割合(「増えた」+「少し増えている」)が64.6%に増えている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
墨田区の緑被率は23区でも下位であるが、うるおいあふれる環境にやさしく暮らしやすいまちづくりを実現するため、現在の緑化施策を継続して実施していく必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
多くの人の目に留まる場所に、まちなか緑化(緑と花のまちづくり推進地域制度)事業実施地域を増やすことで緑感を提供する。また、区施設の既存屋上緑化等の継続的な点検及び維持補修計画に基づく保守を行い良好な緑地を維持する。また、より多くの区民の参加を得て、緑化拡大を目指していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営、緑化推進PR事業	10,061	21,656	31,717		10750	改善・見直し
						9393	平成30年度
2	緑と花のまちづくり推進事業費	3,111	5,906	9,017		13	改善・見直し
						16	平成30年度
3	壁面緑化推進費	1,357	10,828	12,185		23	改善・見直し
						18	平成30年度
4	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業費	6,642	6,890	13,532		2306	改善・見直し
						2328.6	平成30年度
5	緑のへい設置奨励費	257	984	1,241		1113	改善・見直し
						1115.8	平成30年度
6	緑と花のサポーター制度経費	257	7,875	8,132		35	改善・見直し
						30	平成30年度
7	森林整備体験事業	443	5,906	6,349		45	改善・見直し
						35	平成30年度
8	特別保全樹木補助事業	326	984	1,310		30	改善・見直し
						29	平成30年度
9	緑と生物の現況調査	28,404	2,953	31,357		106	
						106	
10							
11							
12							

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営、緑化推進PR事業					1
目 的	区民に対する緑化啓発					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当
						03-5608-6208
対 象 者	広く一般区民。緑を身近に感じて、やすらぎとうるおいを求める区民。					
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化の推進に関する要綱第2条 緑の救急隊設置要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、非常勤1、 委託先：シルバー人材センター	
事業内容	昭和47年「緑化宣言」、昭和56年に「緑と花の学習園」を開園し、積極的に緑化を推進している。 緑化啓発を目的とする学習園管理運営のほか、緑化相談、講習会、民有地における植物の適正管理に関する現地指導等。					
経 過	開始年度	昭和56年度	終了予定		特になし	
	昭和50年4月1日 緑の救急隊設置要綱制定 昭和56年4月1日 緑と花の学習園開園					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		8,733	11,486	8,799	12,376	12,142	11,410
決算額（令和元年度は見込み）		8,008	9,220	7,960	9,872	9,612	11,410
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		8,008	9,220	7,960	9,872	9,612	11,410
執行率（％）		91.7%	80.3%	90.5%	79.8%	79.2%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	非常勤報酬	6,265	報酬	非常勤報酬	6,257	報酬	非常勤報酬	6,330
報償費	講師謝礼	20	報償費	講師謝礼	10	報償費	講師謝礼	26
委託料	学習園管理業務委託	2,609	委託料	学習園管理業務委託	2,212	委託料	学習園管理業務委託	2,653
役務費	塵芥収集運搬処理	132	役務費	塵芥収集運搬処理	165	役務費	塵芥収集運搬処理	872
需用費	培養土外購入	814	需用費	培養土外購入	549	需用費	培養土外購入	800
工事請負費		0	工事請負費	園路舗装撤去工事	92	工事請負費	維持補修	150
原材料費	竹外購入	34	原材料費	竹外購入	93	原材料費	竹外購入	100

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑化講習会等の参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,530	令和7年度	目標		1,450	1,460	1,470
				実績	1,404	1,053	880	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,480	1,490	1,500	1,510	1,520	1,530
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化講習会や苗木の配布を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	緑と花の学習園来園者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		11,000	令和7年度	目標		10,700	10,750	10,800
				実績	10,630	9,606	9,393	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,850	10,900	10,950	11,000	11,050	11,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑化相談を通じて既存の緑(植物)を適正に維持管理するための知識・手段の提供するため。 また、新たな緑を創出する意識を向上させるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑被率・緑感の向上に向けて、本園を拠点としてソフト面を担う緑と花のサポーターの養成をさらに進めるとともに、より多くの区民の参加を得ながら緑化の諸施策をさらに推進していく。

課題・問題点
「見て、学び、相談できる、緑と花の学習園」という目的達成のため、また、緑化推進を区民と協働で進める際の活動拠点になるように、園内の植物や施設の整備を行う必要がある。また、区民が緑を大切にするように、情報発信やPRの方法が課題である。 園内の植物が大きく生長してきているため、他の植物との競合や隣地への越境などが懸念されることから、適宜伐採する等の対策が必要である。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事 業 名	緑と花のまちづくり推進事業費				2
目 的	緑を区民・事業者・区等の連携により創出し、地域の「緑感」を高め、身近に緑を感じられる空間を創造する。				主管課・係（担当）
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	区内の景観美化、緑化に意欲的な町会、及び自治会等				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 墨田区緑の基本計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1、臨時職員1
事業内容	町会や自治会などを対象に、「緑と花のまちづくり推進地域」を選定し、視覚的効果のある場所にプランター等を設置して、緑と花のサポーターの協力を得て、区が助成する花苗、土、肥料などを使い、地域住民が植栽の維持管理を行い、うるおいのあるまちづくりを推進する。				
経 過	開始年度	平成22年度		終了予定	
	【実施地域及び開始年度】 ・平成22年度：十間橋通り、丸井錦糸町店（平成29年度プランター全面撤去）、新堅川 ・平成23年度：プリメール柳島、鐘ヶ淵通り、押上2丁目（平成30年度プランター全面撤去） ・平成24年度：おしなり商店街、本所吾妻橋商店街、北十間川 ・平成25年度：向島1丁目町会、小梅1丁目町会 ・平成29年度：曳舟西ビューハイツ、京島2丁目町会、京島南町会、京島3丁目北町会、京島3丁目中央町会、京島3丁目東町会、立川1丁目町会 ・平成31年3月末現在 実施地域数計：16地域				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 年に3回（4月、7月、11月）、区民から参加者を募り、東京スカイツリー周辺地域の花の植替え講習会を実施し、北十間川及びおしなり商店街に設置しているハングングバスケットと、プランターを作成している。				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		4,946	4,656	6,082	4,249	4,672	5,356
決算額（令和元年度は見込み）		4,484	4,395	5,804	3,125	3,111	5,356
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,484	4,395	5,804	3,125	3,111	5,356
執行率（％）		90.7%	94.4%	95.4%	73.5%	66.6%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	30	報償費	講師謝礼	30	賃金	臨時職員	726
需用費	花苗、培養土等	2,718	需用費	花苗、培養土等	2,917	報償費	講師謝礼	30
役務費	産業廃棄物運搬収集	44	委託料	花苗育成委託等	164	需用費	花苗、培養土等	3,818
委託料	花苗育成委託等	334				役務費	産業廃棄物運搬収集	57
						委託料	花苗育成委託等	725

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	プランター、花壇、ハンギングバスケット数				単位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		460	令和7年度	目標	400	420	425	430
				実績	412	430	430	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	435	440	445	450	455	460
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	設置個数を指標にすることにより、緑化が点から面や線で展開していることが確認できるため。目標値については、オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、さらに緑化のニーズが高まると予測できるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	まちなか緑化「緑と花のまちづくり推進地域事業」実施地域				単位	地域
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		22	令和7年度	目標	11	12	13	14
				実績	11	17	16	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	17	18	19	20	21
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	地域数は、本事業を利用してどの程度の地域のみなさんが、うるおいやすらぎを創出する活動されているかの目安となるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新規事業地域を増やすため、関係機関と情報共有を図っていく。また、産学官での連携を視野にいれながら、緑化のソフト面の充実を図っていく。

課題・問題点
天候が不順だと植栽管理に弊害が生じる。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	壁面緑化推進費					3
目 的	地域の緑感を高めるため、壁面緑化の推進を図る。					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当
						03-5608-6208
対 象 者	壁面緑化整備補助金を利用する区民。区内の民間建築物。					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱（第5条）、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、非常勤1	
事業内容	・ハンギングバスケット講習会 ・緑のカーテン設置支援（庁舎・公共施設） ・緑のカーテン講習会 ・緑のカーテンコンテスト ・屋上・壁面緑化見学ツアー（緑の探検隊） ・壁面緑化整備補助金 ・学校の環境施設維持補修 ・庁舎壁面緑化見本コーナー					
経 過	開始年度		終了予定			
	昭和50年頃より苗木の無料配布時にツル性植物も取り入れる。 平成9年度、区有施設、民間の立体緑化モデル事業再開 平成21年度、壁面緑化補助金新設 平成23年度～平成29年度、すみだエコポイント事業の一環として緑のカーテンポイント実施 平成27年度、緑のカーテンコンテスト開始（平成26年度試行） 平成28年度、学校の環境施設維持補修計画策定（毎年度改定中） 平成29年度、屋上・壁面緑化見学ツアー（緑の探検隊）開始					
議会質問 の 状 況	平成30年決特 既存壁面緑化の維持管理の徹底 平成30年予特 庁舎壁面緑化の改善					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		1,027	1,742	7,541	6,758	1,847	1,448
決算額(令和元年度は見込み)		552	1,078	2,533	6,476	1,357	1,448
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	1,620	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		552	1,078	2,533	4,856	1,357	1,448
執行率(%)		53.7%	61.9%	33.6%	95.8%	73.5%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	139	報償費	講師謝礼	131	報償費	講師謝礼	139
需用費	緑のカーテン物資購入	885	需用費	緑のカーテン物資購入	822	需用費	緑のカーテン用物資等	761
委託料	会場設営委託	183	委託料	会場設営委託	59	委託料	会場設営委託	150
使用料及び賃借料	会場使用料	10	使用料及び賃借料	会場使用料	14	使用料及び賃借料	会場使用料	18
工事請負費	業平小学校壁面緑化	4,860	工事請負費	濯水設備補修工事	251	工事請負費		0
負担金時補助及び交付金	壁面緑化助成制度	400	負担金時補助及び交付金	壁面緑化助成制度	80	負担金時補助及び交付金	壁面緑化助成制度	380

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	ハンギングバスケット講習会実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	4	5	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	4	4	4	4
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	指標の実績数は目標数値の前後で推移している。今後も緑感の向上に向けて推進していく。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	公共施設への緑のカーテン設置支援				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		27	令和7年年度	目標		23	23	24
				実績	21	17	18	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	25	25	26	26	27
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	人通りの多い公共施設における緑のカーテンの設置を区が率先して行うことにより、区民に緑のカーテンの効果を実感してもらうとともに、区民・事業者による壁面緑化の取組に向けた機運の醸成を図る。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	壁面緑化や緑のカーテンの設置を推進するため、内容を検証しながら講習会の実施や設置支援等をしていく。緑化補助事業全般を再検証し、利用が向上するように検討していく。

課題・問題点
区民向けに個人でもできる緑のカーテンづくりの普及をはかり、その効果(緑感の向上・ヒートアイランド現象の緩和)についてPRする必要がある。

補助金名称	壁面緑化整備補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱				環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに壁面緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。				03-5608-6208	
目的	緑感の向上、地球温暖化への適応やヒートアイランド現象の緩和に寄与する壁面緑化の民有地への設置を促すため。					
対象	新たに壁面緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに道路に沿った建築物の壁面に補助器具を設置してつる性植物等で覆い、壁面を緑化する場合。					
経過	開始年度	平成21年度	終了予定			
	平成21年度から壁面緑化推進のために助成制度を実施している。					
議会質問の状況	平成30年 決特 （千野区議）庁舎壁面緑化、（福田区議）業平小壁面緑化					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		450	450		400	380	380
決算額（令和元年度は見込み）		0	40		400	80	380
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	40	0	400	80	380
執行率（％）		0.0%	8.9%	#DIV/0!	100.0%	21.1%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	壁面緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	1	1	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の壁面緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、工事費が比較的高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成による壁面緑化面積（事業開始年度からの累計）				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		108.3	令和7年度	目標		68	73	78
				実績	63	117	125	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	83	88	93	98	103	108
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、壁面緑化の設置は有効な緑化推進策であることから、区民ニーズは高い。						

課題・問題点	
積極的にPRしているが、条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため申請件数が少ない。	

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	公共施設・民間建築物の屋上等緑化推進事業					4
目 的	緑被率を高め、ヒートアイランド現象を緩和するため、民間施設、公共施設の屋上緑化を推進する。					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当
						03-5608-6208
対 象 者	公共施設。屋上等緑化整備補助金を利用する区民。区内の民間建築物。					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑の推進に関する要綱（第5条）、墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	・屋上等緑化補助金 ・学校の環境施設維持補修 ・屋上緑化建築物安全点検 ・民間建築物屋上緑化点検 ・公共施設屋上緑化点検 ・屋上・壁面緑化見学ツアー（緑の探検隊）					
経 過	開始年度		終了予定			
	平成14年度 庁舎屋上緑化見本コーナー開設 （庁舎工事に伴い、平成26年7月から一時閉鎖中） 平成15年度 屋上等緑化整備に対する補助事業開始 平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上緑化指導開始 平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上緑化の設置を指導している。 平成28年度、学校の環境施設維持補修計画策定（毎年度改定中） 平成29年度、屋上・壁面緑化見学ツアー（緑の探検隊）開始					
議会質問 の 状 況	平成29年決特・平成30年産都委 既存屋上緑化の維持管理の徹底					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		1,660	807	558	4,067	7,273	6,872
決算額（令和元年度は見込み）		1,149	13	39	3,435	6,642	6,872
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	220	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		929	13	39	3,435	6,642	6,872
執行率（％）		69.2%	1.6%	7.0%	84.5%	91.3%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	点検委託	324	委託料	点検委託	13	委託料	点検委託	132
負担金補助及び交付金	屋上緑化整備補助金	3,111	負担金補助及び交付金	屋上緑化整備補助金	570	負担金補助及び交付金	屋上緑化整備補助金	740
工事請負費	維持補修費	0	工事請負費	維持補修費	6,059	工事請負費	維持補修費	6,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	屋上緑化助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	民有地の屋上緑化推進のために屋上緑化助成制度を実施している。建築物の構造の問題や区民の自己負担に係る設置費用が比較的高額であることから、年度ごとに確定的な増加目標を設定しにくい。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	助成による屋上緑化面積(平成15年度からの累計)				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,516	令和7年度	目標		2,276	2,306	2,336
				実績	2,246	2,246	2,329	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,366	2,396	2,426	2,456	2,486	2,516
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	各年度の申請数に差異があるため、過去の実績からの増加率を推計し目標値とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	維持補修計画に基づき、計画的に維持補修を実施して、既存公共施設の屋上緑化を良好な状態に維持する。また、屋上緑化が都市部の緑化として有効なものであることを普及啓発し、区民の理解を深めていく。

課題・問題点
教育施設に設置した屋上緑化の維持補修を行い、屋上緑化の普及啓発を図る。 屋上等緑化整備補助金制度をPRし、申請件数の増加を目指す。

補助金名称	屋上等緑化整備補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱				環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに屋上等緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。				03-5608-6208	
目的	緑感の向上、地球温暖化への適応やヒートアイランド現象の緩和に寄与する屋上緑化の民有地への設置を促すため。					
対象	新たに屋上等緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに建築物の屋上や屋根のないルーフバルコニー等に1㎡以上の緑地を設けた場合。					
経過	開始年度	平成15年度	終了予定			
	平成15年度から屋上緑化推進のために助成制度を実施している。					
議会質問の状況	平成29年 決特（田中邦友区議） 平成30年 産都委（田中哲区議）					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		1,200	1,200	1,200	800	740	740
決算額（令和元年度は見込み）		910	0	0	0	570	740
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		910	0	0	0	570	740
執行率（％）		75.8%	0.0%	0.0%	0.0%	77.0%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	屋上緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績	0	0	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	民有地の屋上緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、緑化工事費が高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成による屋上緑化面積（事業開始年度からの累計）				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,516.00	令和7年度	目標		2,276	2,306	2,336
				実績	2246	2246	2329	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,366	2,396	2,426	2,456	2,486	2,516
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		屋上緑化の設置はヒートアイランド現象の緩和につながることから、区民ニーズは高い。						

課題・問題点	
積極的にPRしているが、条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、設置費用が比較的高額なため申請件数が少ない。	

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事 業 名	緑のへい設置奨励費				5
目 的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑感」の向上や「防災」に寄与する。				主管課・係（担当）
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替える区民				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画 墨田区の緑化の推進に関する要綱(第5条)、緑のへい等設置補助金等交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行う。				
経 過	開始年度	昭和48年度	終了予定		
	昭和48年度、「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。 平成元年度、植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。 平成3年度、「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。 平成14年度、「緑のへい等設置補助金等交付要綱」改正。補助金額に上限を設ける。 平成28年度、「緑のへい等設置補助金等交付要綱」改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		920	620	440	740	680	680
決算額（令和元年度は見込み）		537	378	129	375	257	680
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	94	142	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		443	236	129	375	257	680
執行率（％）		58.4%	61.0%	29.3%	50.7%	37.8%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	緑のへい等設置補助金	375	負担金補助及び交付金	緑のへい等設置補助金	257	負担金補助及び交付金	緑のへい等設置補助金	680

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑のへい等助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、窓口やイベントで制度をPRして利用者を増やしていく。ただし、区内は市街地のため、設置できる場所が限られているので、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	生け垣の長さ(平成元年度からの累計)				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,183	令和7年度	目標		1,103	1,113	1,123
				実績	1,093	1,108	1,118	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,133	1,143	1,153	1,163	1,173	1,183
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	各年度の申請(生け垣長さ)には差異があるため、累計での目標値とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、区民ニーズは高い。

課題・問題点
積極的にPRしているが、条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため申請件数が少ない。

補助金名称	緑のへい等設置補助金				主管課・係（担当）	
根拠法令	緑のへい等設置補助金等交付要綱				環境保全課緑化推進担当	
補助概要	墨田区内に新たに生け垣又は植樹帯を設置する者に対し、生け垣の場合1m当たり20,000円又は工事費のどちらか少ない額、植樹帯の場合1㎡当たり24,000円又は工事費のどちらか少ない額を助成する。				03-5608-6208	
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑感」の向上や「防災」に寄与する。					
対象	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替えた者					
基準	区独自基準					
補助条件	新たに沿道部に生け垣又は植樹帯を設けた場合。					
経過	開始年度	昭和48年度	終了予定			
	昭和48年度、「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。平成元年度、植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。平成3年度、「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。平成14年度、「緑のへい等設置補助金等交付要綱」改正。補助金額に上限を設ける。平成28年度、「緑のへい等設置補助金等交付要綱」改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。					
議会質問の状況						
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		920	620	440	740	680	680
決算額（令和元年度は見込み）		537	378	129	375	257	680
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	94	142	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		443	236	129	375	257	680
執行率（％）		58.4%	61.0%	29.3%	50.7%	37.8%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	緑のへい等助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、窓口やイベントで制度をPRして利用者を増やしていく。ただし、区内は住宅密集地が多く、設置できる場所が限られているため、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	生け垣の長さ（平成元年度からの累計）				単 位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,183	令和7年度	目標		1,103	1,113	1,123
				実績	1,093	1,108	1,118	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1,133	1,143	1,153	1,163	1,173	1,183	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
各年度の申請（生け垣長さ）には差異があるため、累計での目標値とする。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		緑のへいには視覚的効果があり、災害時には被害を抑制できるため、区民ニーズは高い。						

課題・問題点	
	積極的にPRしているが、条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため申請件数が少ない。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	緑と花のサポーター制度経費					6
目 的	公募した「緑と花のサポーター」が「緑と花の学習園」を活動拠点として、「まちなか緑化」などの植物の手入れや、区が主催するイベント・緑化講習会にボランティアとして参加することで、区民の緑化に対する意識の向上、緑化に関心のある人のネットワークの拡大につなげていく。					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	緑を愛する区民。緑と花の学習園、緑と花のまちづくり推進事業地区。					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	非常勤1	
事業内容	「緑と花の学習園」や「まちなか緑化」など、緑を守り・育てる活動を通じて、うるおいと環境にやさしいまちづくりに寄与する。					
経 過	開始年度	平成14年度		終了予定		
	平成12年度から区民ボランティアの参加により、公的未事業化用地（空き地）の除草作業を実施してきた。平成14年4月1日、その参加者が他の公共緑地にも活動の場を広げたいということから、本制度を創設した。（発会式平成14年5月15日）平成30年度、若年層向け「緑化ボランティア体験」開催（名称：園芸・ガーデニング体験）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		294	287	283	283	285	277
決算額（令和元年度は見込み）		249	265	272	265	257	277
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		249	265	272	265	257	277
執行率（％）		84.7%	92.3%	96.1%	93.6%	90.2%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	40	報償費	講師謝礼	40	報償費	講師謝礼	40
需用費	花苗、赤玉土など	199	需用費	花苗、赤玉土など	198	需用費	花苗、赤玉土など	202
使用料及び賃借料	高速道路通行料	27	使用料及び賃借料	高速道路通行料	16	役務費	郵送代	4
			負担金補助及び交付金	駐車場料金	3	使用料及び賃借料	高速道路通行料	31

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	緑と花のサポーター登録数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		55	令和7年度	目標		50	50	50
				実績	47	47	48	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安定したサポーター活動を行うため、登録人数を指標とした。 健康状態や家庭環境の変化に伴い退会する方もいるので、安定した登録者数を確保することが必要である。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	緑と花のサポーター実働数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		40	令和7年度	目標		35	35	35
				実績	31	30	31	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	40	40	40	40	40
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	ボランティア活動を継続的かつ安定して行うため、活動状況(登録者のうち実際に活動(1回以上/年度)した人数)を指標とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	新規ボランティアの募集を引き続き進め、人材の継承を図っていく。また、産学官で連携を取りながら、学生の協力を得て、ボランティアとの連携や活用方法について検討するなど、緑被率や緑感を高める施策を進めていく。

課題・問題点
サポーター活動で得た技術や知識の共有を図りつつ、活動を拡大していくためサポーターとの連携を強化していく。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	森林整備体験事業					7
目 的	環境学習の推進					主管課・係（担当）
						環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	小学生以上の区民。					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:有限会社高見林業	
事業内容	6月初旬:植林体験 8月初旬:林業体験(山の日イベント) 10月下旬:間伐体験(1泊2日)星空観察会同時開催					
経 過	開始年度	平成23年度		終了予定		
	【平成19年度】間伐体験を試行実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) 【平成20年度～22年度】植林・下草刈り・間伐体験実施(山梨県山梨市ライオン山梨の森) 【平成23年度～】植林・間伐体験、会場変更して実施(栃木県鹿沼市) 【平成28年度～】「山の日」イベント開始					
議会質問 の 状 況	平成29年決特 実施回数を増やす検討					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		345	362	501	586	607	611
決算額（令和元年度は見込み）		331	296	413	275	443	611
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		331	296	413	275	443	611
執行率（％）		95.9%	81.8%	82.4%	46.9%	73.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	管外出張旅費	14	旅費	管外出張旅費	23	旅費	管外出張旅費	28
需用費	ヘルメットカバー等購入	4	需用費	ヘルメットカバー等購入	2	需用費	山ヒル対策用品等	5
役務費	傷害保険料	10	役務費	傷害保険料	36	役務費	傷害保険料	55
委託料	植林・間伐体験委託	200	委託料	植林・間伐体験委託	200	委託料	植林・間伐体験委託	300
使用料及び賃借料	バス借上等	48	使用料及び賃借料	バス借上等	182	使用料及び賃借料	バス借上等	223

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	森林整備体験開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	令和7年度	目標		3	3	3
				実績	3	3	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内では経験することができない、植林・間伐作業、林業機械の操縦について体験することや、緑や森林の役割について、学ぶ機会を提供する。 体験作業の実施に適した季節に限られることから、目標値の増加は困難である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	森林整備体験参加者数(延べ)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		45	令和7年度	目標		45	45	45
				実績	43	41	35	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	45	45	45	45	45
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民が体験を通して、緑の大切さ、森林の役割、地球温暖化等に対して、どの程度関心を持っているのか知ることができるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	環境学習の機会を引き続き提供していく。多くの区民に体験していただき、その学習成果を生かせる仕組みを構築していく。

課題・問題点
新たな体験内容を検討して幅広い年齢層の参加を導いていく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事 業 名	特別保全樹木補助事業				8
目 的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部を1年に1回限り補助することにより、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。				主管課・係（担当）
					環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、緑の基本計画、墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	特別保全樹木等の剪定費用の一部を助成する。				
経 過	開始年度	平成21年度	終了予定		
	平成21年度から特別保全樹木補助事業開始。 【特別保全樹木等指定状況】 樹木 28箇所 161本 生け垣 2箇所 189m				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度
予算現額（事業費）		811	500	394	614	380	380
決算額（令和元年度は見込み）		379	400	285	519	326	380
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		379	400	285	519	326	380
執行率（％）		46.7%	80.0%	72.3%	84.5%	85.8%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成 2 9 年度（決算）			平成 3 0 年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	特別保全樹木助成金	305	負担金補助及び交付金	特別保全樹木助成金	326	負担金補助及び交付金	特別保全樹木助成金	380
需用費	指定番号札交換	214						

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	特別保全樹木助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		16	令和7年	目標		8	9	10
				実績	7	6	7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	12	13	14	15	16
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	補助制度の利用者に偏りが見られるため、特別保全樹木の所有者及び管理者に改めて制度を周知し、助成件数を増やしていく必要がある。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	特別保全樹木指定件数(事業開始年度からの累計)				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	土地の利用状況から新規指定は難しい。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知っていただく機会が必要である。

補助金名称	特別保全樹木等補助金			主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱			環境保全課緑化推進担当	
補助概要	樹木にあっては剪定等維持管理に要する経費の半額又は、1本当たり2万円を乗じて得た額のいずれか少ない額を、生垣にあっては剪定等の維持管理に要する費用として延長1mにつき500円を補助する。			03-5608-6208	
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部を1年に1回限り補助することにより、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。				
対象	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会				
基準	区独自基準				
補助条件	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理を行った場合。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。				
経過	開始年度	平成21年度	終了予定		
	平成21年度から特別保全樹木補助事業開始。 【特別保全樹木等指定状況】 樹木 28箇所 161本 生け垣 2箇所 189m				
議会質問の状況					
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		500	500	394	400	380	380
決算額（令和元年度は見込み）		145	400	285	305	326	380
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		145	400	285	305	326	380
執行率（％）		29.0%	80.0%	72.3%	76.3%	85.8%	100.0%

補助金の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	令和7年度	目標		8	9	9
				実績	7	6	7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本助成制度の利用状況を指標として、貴重な樹木等の保全を図る。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	指定件数（事業開始年度からの累計）				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	令和7年度	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		30	30	30	30	30	30	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
土地の利用状況から新規指定は難しい。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
改善・見直しのうえ継続		事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。						

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	緑と生物の現況調査経費					9
目 的	「墨田区緑の基本計画」(計画期間:平成7年度～平成32年度、平成7年度策定・平成22年度改訂)の改訂を、平成32年度に予定している。本計画の改訂にあたり、緑と生物の現況及び前回調査(平成22年度)以降の推移を把握し、今後の緑化や環境政策の基礎資料とする。					主管課・係(担当)
						環境保全課緑化推進担当 03-5608-6208
対 象 者	区民、墨田区の自然環境					
根拠法令 関連計画	都市緑地法、生物多様性基本法、墨田区環境区本条例、第2次すみだ環境の共創プラン、墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	緑については、航空写真撮影による、データ解析に基づく「緑被率」「みどり率」の算出、及び現地調査(106箇所)により「緑被率」等を調査する。 生物については、現地調査(8地区)により、両生類・鳥類・魚類等6項目の生息状況を調査する。 また、区民意向を把握する。区民アンケートを行う。					
経 過	開始年度	平成30年度		終了予定	平成30年度	
	【緑の調査の実施状況】 昭和48年度、昭和59年度、平成2年度 【生物の調査の実施状況】 平成3年度 【緑と生物の現況調査】 平成12年度、平成21年度、平成30年度					
議会質問 の 状 況	平成30年第4定例会 今ある緑を大事にしていきたい。 緑被率が少ないところを上げる計画はあるか。					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ほとんどの区で実施している。					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		0	0	0	0	29,981	0
決算額(令和元年度は見込み)		0	0	0	0	28,404	0
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	28,404	0
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.7%	#DIV/0!

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			委託料	調査・研究委託	28,404			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区民アンケート参加者				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		400	平成30年度	目標			400	
				実績			452	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民アンケートの回答者が増えることで、区内の緑や生物に対する分析を多角的に行うことができ、その後の基本計画策定の基礎資料としての信頼性がより増すため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	緑視率調査箇所数				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		106	30	目標			106	
				実績			106	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	第二次すみだ環境の共創プラン及び、墨田区緑の基本計画で掲げている「緑感」がどれくらい高まったか調べるに当たり、調査箇所数が多いほど、調査としての信頼性・正確性が増すため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の基本計画や生物多様性地域戦略を策定する際、目標設定や具体的な政策立案をするためには、現況調査により現状を把握する必要がある。

課題・問題点
緑の基本計画や生物多様性地域戦略を策定する際、区内の緑や生物についての基礎データを収集し、計画策定に反映する必要がある。そのため、策定に合わせて調査を行う必要があるが、専門的知見を有する事業者へ委託する必要があり、委託費用は高額になる。